

日本周辺高度回遊性魚類資源調査委託事業

漁業資源課 新谷 淑生

1 目 的

本事業は独立行政法人水産総合研究センターの委託を受けて実施しているもので、日本周辺海域における高度回遊性魚類であるマグロ類の生物学的データを収集して北太平洋のマグロ類の資源評価に必要な基礎的知見を蓄積することを目的としている。

2 実施概要

(1) 方 法

平成 20 年度国際資源対策推進委託事業実施計画書に基づき実施した。

1) マグロ類等漁獲実態調査

- ①漁獲状況調査
- ②生物測定調査

(2) 事業実施期間

平成 20 年 4 月 4 日～平成 21 年 3 月 24 日

(3) 担 当 者

漁業資源課	課 長	田ノ本	明彦
	チーフ	新谷	淑生
	主任研究員	浦	吉徳
	〃	山本	順
	〃	大河	俊之
	〃	梶	達也
	研究員	山下	慶太郎

3 結果の概要

(1) 平成 20 年度の調査について

水揚調査：調査担当者

高知県水産試験場 漁業資源課

チーフ 新谷 淑生
主任研究員 山本 順

調査水揚市場：甲浦、椎名、室戸、加領郷、宇佐、佐賀、上ノ加江、窪津、清水

調査方法：漁獲統計資料収集整理、水揚伝票調査

魚体測定調査：調査担当者（体長・体重測定）

高知県漁業協同組合甲浦支所 職員

上ノ加江漁業協同組合 職員

(2) 市場伝票調査、体重・体長測定

得られたデータは定められた様式で入力の上、(株)日本エヌ・ユー・エスへ送付した。

(3) 2008年(1~12月)のクロマグロ及び他のマグロ類の漁況について

1) 沿岸まぐろ延縄(20トン未満船)

高知県東部の甲浦へのまぐろ類の水揚げ尾数を表1に示した。水揚げされたクロマグロは31尾で前年の163%、キハダは1,436尾(前年比291%)、メバチは1,766尾(同123%)、ビンナガは23,388尾(同63%)であった。

2) 沿岸竿釣(20トン未満船)

甲浦、宇佐、佐賀のヨコワ水揚量を表2に示した。水揚げされたクロマグロ(ヨコワ)は27.9トンで前年(55.2トン)の51%であった。昨年と比較して水揚げが半減したのは、高知県海域でのカツオ漁況が低調で多くの竿釣船が九州方面で操業したことも一つの要因と考えられた。

3) 曳縄

甲浦、室戸、加領郷、宇佐、上ノ加江、佐賀、窪津、清水の水揚量を表3に示した。水揚げされたクロマグロ(ヨコワ)は131.2トンで前年(180.2トン)の73%であった。

表1 2008年沿岸まぐろ延縄水揚げ尾数(甲浦)

単位:尾

月	隻数	キハダ		クロマグロ	メバチ		ビンナガ	マカジキ	メカジキ	クロワカジキ	シロワカジキ
		キハダ	シビ		メバチ	タルマ					
1	25	33	14		119	244	3,917	3	19		3
2	24	186	18		47	117	3,544	22	24		1
3	44	497	323	3	48	186	7,404	97	10		6
4	23	98	50	15	17	91	3,605	37	16		7
5	8	6	5	10	2	6	685	31	6		7
6	5	27	35	3	1	4	222	16			7
7	2	8						5			8
8											
9											
10											
11	12	30	37		51	169	964	11	11	6	1
12	42	15	54		113	551	3,047	9	26	8	
計	185	900	536	31	398	1,368	23,388	231	112	53	1
前年計	197	322	171	19	740	693	37,047	196	108	47	0

表2 2008年沿岸竿釣ヨコワ水揚量

単位:kg

月	佐賀	宇佐	甲浦	計
1	4	4		7
2	2,618			2,618
3	8,134			8,134
4	2		106	108
5	12		6	18
6			3	3
7				0
8				0
9	4,848		38	4,886
10	9,042		1,567	10,609
11	1,520			1,520
12				
計	26,180	4	1,720	27,903
前年計	49,672	1,614	3,952	55,239

表3 2008年高知県主要水揚市場の曳縄ヨコワ水揚量

単位：kg

月	清水	窪津	佐賀	上ノ加江	宇佐	加領郷	室戸	甲浦	計
1	3,161	44	295	49	2,327	2,341	3	1,686	9,906
2	23,299	4,540	5,150	133	1,132		78	34	34,366
3	7,530	29	3,306	27	5,596	285	119	5,129	22,019
4	550	89	110		582	21	20	168	1,541
5	45		3				4	109	161
6	4		2		8			2	16
7			12	18	2			7	39
8		20	152	24	26				221
9	221	36	83	1	228			218	786
10	8,084	73	485		171	40	13	219	9,084
11	3,413	94	4,765	370	22,460	1,493	12	75	32,683
12	348	30	2,389	750	13,940	2,868	37	4	20,366
計	46,654	4,955	16,752	1,371	46,472	7,048	287	7,651	131,189
前年計	40,738	2,559	42,513	3,863	42,130	37,930	410	10,014	180,157

4) 県下主要水揚市場のヨコワ水揚量

甲浦、椎名、室戸、加領郷、宇佐、上ノ加江、佐賀、窪津、清水の水揚量を表4に示した。水揚げされたクロマグロ(ヨコワ)は179.1トンで前年(275トン)の65%であった。

また、1997年からの甲浦、室戸、加領郷、宇佐、佐賀、窪津、清水における月別水揚量の推移を図1に示した。

表4 2008年高知県主要水揚市場のヨコワ水揚量

単位：kg

月	清水	窪津	佐賀	上ノ加江	宇佐	加領郷	室戸	椎名	甲浦	合計
1	3,791	69	299	49	2,331	2,341	49	97	1,878	10,903
2	25,554	4,550	7,769	133	1,132	3	281	88	43	39,554
3	7,660	38	11,440	27	5,596	288	171	7	5,135	30,360
4	627	164	113		582	21	20	407	322	2,256
5	60	38	15				4	22	120	259
6	15	68	2		8			8	7	108
7		8	12	18	2			9	8	57
8	6	89	152	24	26			2		298
9	3,049	87	4,945	1	377			2,811	2,458	13,727
10	8,711	89	9,527		171	42	13	1,078	4,497	24,127
11	3,520	101	6,286	370	22,460	1,522	72	80	2,119	36,531
12	615	67	2,389	750	13,940	2,868	70	211	21	20,932
計	53,607	5,367	42,947	1,371	46,625	7,085	681	4,818	16,609	179,109
前年計	77,897	3,612	92,279	3,863	43,744	38,137	662	155	14,690	275,038

※養殖用種苗はカウントせず

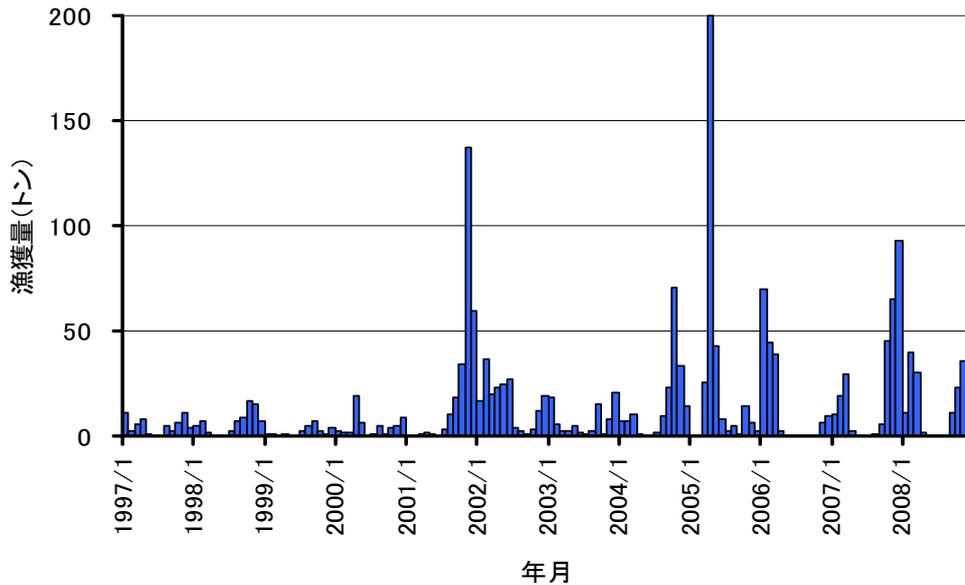


図1 高知県主要水揚市場のヨコワ水揚量推移(甲浦、室戸、加領郷、宇佐、佐賀、窪津、清水)

(4) クロマグロ養殖用種苗採捕状況

本県では養殖用種苗として県内数カ所でクロマグロ幼魚を採捕している。尾数を確認できた水揚市場は次のとおりで、採捕尾数は前年の68%であった。

表5 養殖用種苗採捕尾数

年	2004	2005	2006	2007	2008
甲浦	8,329	8,978	13,181	27,339	10,413
宇佐	23,000	9,552	20,005	26,103	13,605
久礼	4,684	4,692	19,197	7,000	3,877
上ノ加江	32,612	4,883	9,817	7,317	4,745
佐賀	-	-	11,923	13,171	8,052
下ノ加江				3,773	5,885
窪津				4,513	5,134
清水				2,115	11,900
計(尾)	68,625	28,105	74,123	93,338	63,611
単価(円)	1,300	1,300	1,300	1,800	1,800

(5) 市場測定調査

クロマグロ(ヨコワ)魚体測定による土佐湾周辺で水揚げされた魚体の尾叉長組成の推移を図2に示した。2007年に加入した群は、3月には50~60cm前後に成長したとみられた。2008年7月に20cm台で加入したヨコワは12月には45~55cm前後に成長したとみられた。

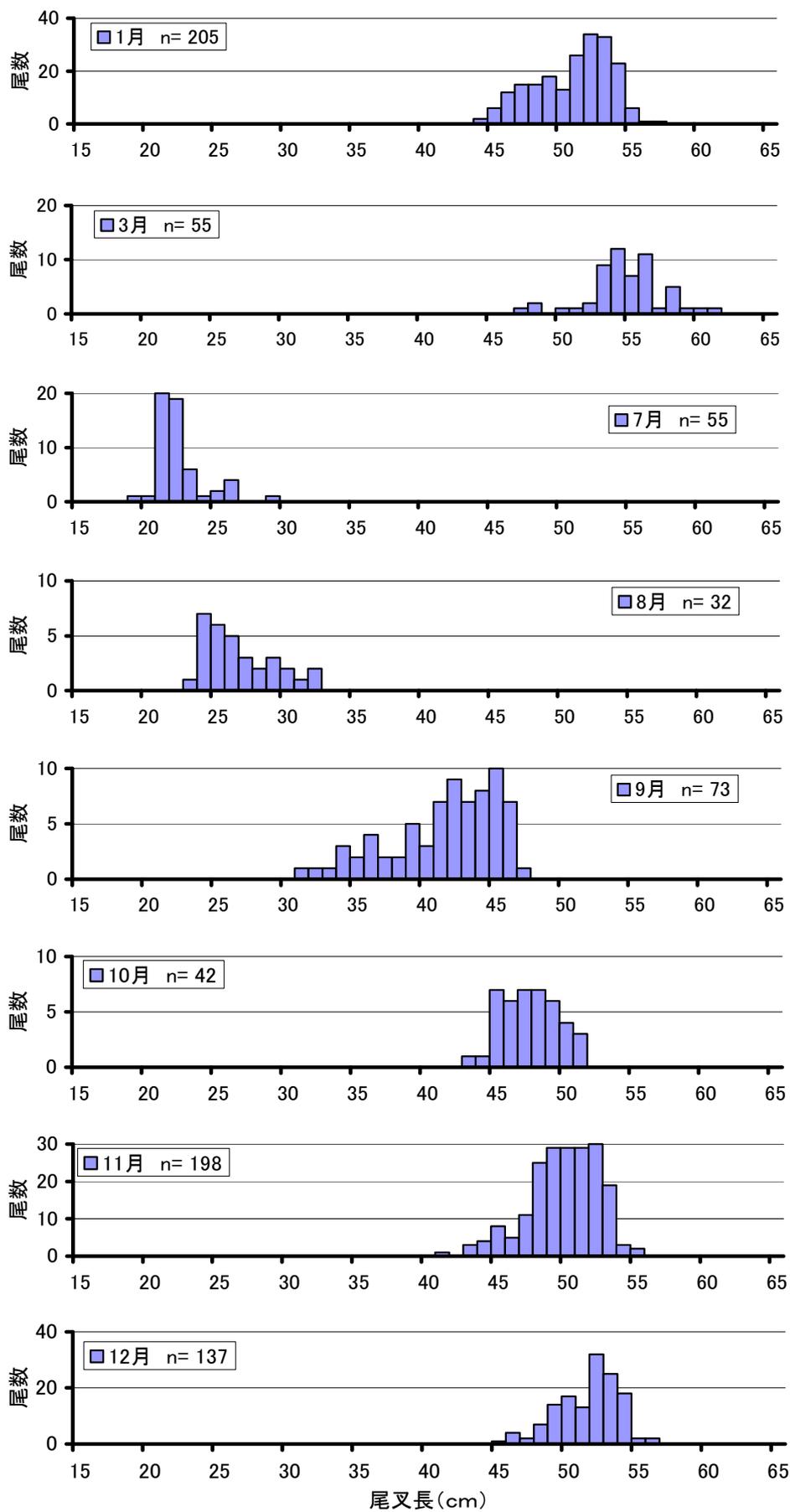


図2 魚体測定結果 (2008年)

(6) ヨコワ加入量調査

1) 目的と方法

7～8月に高知県海域へ加入するヨコワ0才魚（FL15～35cm）の定量化を求めるための予備試験を行った。掃海方式による定量化と同様な考え方で、あらかじめ定めた海域を一定船速（4～5ノット）で航走、曳縄漁具によりヨコワを漁獲した。

2) 結果

2008年7月16日～8月21日に高知県西部水深100m前後の海域で漁船（7.6トン420馬力）を用船し試験操業を8回実施した（航走距離約50浬／日）。漁獲は尾叉長20～35cmのヨコワ85尾であった。

漁獲尾数÷航走距離＝加入量指数と仮定すれば

$$85 \text{ 尾} \div (50 \text{ 浬} / \text{日} \times 8 \text{ 日}) = 0.21 \text{ 尾} / \text{浬}$$

が2008年7月中旬から8月中旬の高知県西部海域の加入量指数となる。